2024年 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | 科目区分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|------|--------------|---------|------|-----------|---------------|
| 科目名 | 看護研究 | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対象学年 | 3学年 | 学期及び曜時限 | 通年 | 教室名 | 新館2階・3階 |
| 担当教員 | 石原 啓之 他、専任教員 | | | | |

《科目目標》

- ①看護における研究の重要性を理解し、研究活動に必要な基礎知識を習得する。。
- ②研究活動の実施から成果発表まで、文献検索および研究計画書の作成とそれに基づく看護研究の実際を行う。
- ③グループでの演習をすることでチームワークの大切さを学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】研究計画書作成と発表(40%)、看護研究抄録・PP作成(30%)、看護研究の実際(取り組み、参加度。発表) (30%) 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点

未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ基礎看護④ 看護研究

《授業外における学習方法》

看護学学会や看護雑誌などを読み、過去の研究内容やその方法、まとめ方などの実際を知る

《履修に当たっての留意点》

1) 看護の本質に立ち戻り看護現象を客観的に見る目と探究方法の習得、協働作業の楽しさを体験する

| 授業の 方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------------|---------|---------------------|--|--|--|
| | 講義演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究とは何か理解できる 研究計画書とは何か理解できる | 配布資料 | 個人またはグループで の研究課題について ネット等での検索し決定 していく |
| | | 各コマに おける 授業予定 | <講義>講義の進め方,発表について 研究テーマ、リサーチクエスチョン、研究計画書の書き方 <グループワーク> 研究テーマについて、研究計画書作成 | 教科書 | |
| 男 章 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | 文献検索の方法が理解できる クリティークが理解できる | | 個人またはグループで の研究課題について ネット等での検索し決定 していく |
| | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | <講義>文献検索の方法 <グループワーク> 文献検索、研究計画書作成 | 配布資料 教科書 | |
| 男 3 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 研究における倫理を理解することができる | 町 左次型 | 個人またはグループで の研究課題について研 究計画書の作成 |
| | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | <講義>看護研究における倫理 <グループワーク> 研究計画書作成、同意書・依頼書作成 | 配 巾 貸 科 数 科 書 | |
| 第 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | で研究計画書の構成が理解できる | | 個人またはグループで |
| 4 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 論文の構成 <グループワーク> 抄録、研究計画書、同意書・依頼書作成 | 配布資料 教科書 | の研究課題について研究計画書の作成 |
| 第 5 回 | 講義演習形をお | 授業を 通じての 到達目標 | 研究のデザインを理解することができる 研究計画書、同意書、依頼書中間提出 | 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. | 個人またはグループで の研究課題について研 究計画書の作成 |
| | | 各コマに おける 授業予定 | <講義>研究論文のデザイン、まとめ方や構成 <グループワーク>研究計画書作成、同意書・依頼書作成 | | |

| 授第 | | | | 使用教材 | |
|-------------------|---|---------------------|---|-------------|---------------------------------|
| 第 | 講 養 通じての 到達目標 | | データの収集方法が理解できる データの整理と分析が理解できる | 配布資料 | 個人またはグループで |
| 6 | 興習形式 | 各コマに おける 授業予定 | <講義>データ収集の方法、データの整理と分析 <グループワーク>研究計画書作成、同意書・依頼書作成 | 教科書 | の研究課題について研 究計画書の作成 |
| 第7回 | 演習実 | 授業を 通じての 到達目標 | 発表・報告の方法が理解できる 研究発表準備ができる | 配布資料 教科書 | 教室・図書室・研究 フィールドでの研究活 動準備 |
| | 習形 | 各コマに おける 授業予定 | <講義>研究発表・報告<全体>発表会運営準備(役割の決定) <グループワーク> 抄録、発表資料(パワーポイント等)での 作成および原稿作成、研究計画書、同意書・依頼書作成 | | |
| 第 | 講義演 | 授業を 通じての 到達目標 | 研究計画の発表会ができる | 発表と講評 | 実施可能な計画書の修 正 |
| ⊗ □ | 倒習 形式 | 各コマに おける 授業予定 | 研究計画書発表 研究計画書、抄録、同意書·依頼書作成提出 | | |
| 第 | 講義演 | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究の実際 | | グループ間でテーマや 内容について話し合っ ておく |
| 9 日 回 日 | 興習形式 | 各コマに おける 授業予定 | 対象決定、調査紙作成 | 教科書 | |
| 第 | 表 到海日播 | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究の実際 | 教科書 | グループメンバーと協力 して資料作成する |
| 10回 | 興習形式 | 各コマに おける 授業予定 | データ収集と分析 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究の実際 | 教科書 | グループメンバーと協力 して資料作成する |
| | 演習形式 | 各コマに おける 授業予定 | 抄録作成、PP作成、発表原稿作成 | | |
| 第 | | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究の実際 発表 | | グループメンバーと協力 して発表する |
| 12回 | 倒習 形式 | 各コマに おける 授業予定 | 卒業研究(学内発表) | 発表と講評 | |
| 第 | 講義演 | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究の実際 発表 | | グループメンバーと協力 して発表する |
| 13 ¹ | 倒習 形式 | 各コマに おける 授業予定 | 卒業研究(学内発表) リフレクション・追加・修正 | 発表と講評 | |
| 第 14 回 刑 | 講義演 | 義 到達目標 | 看護研究の実際 発表 | 発表と講評 | グループメンバーと協力 して発表する |
| | 習: | 各コマに おける 授業予定 | 卒業研究発表 (アゼリアホール発表) | | |
| 男 3 | () () () () () () () () () () | 授業を 通じての 到達目標 | 看護研究の実際 発表 | | 及主な明さけついない。こ |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 卒業研究発表 (アゼリアホール発表) | 発表と講評 | 発表を聞きリフレクション する。 |